

約6年ぶり、播磨町ふるさと賞を授与しました！



▲原田優飛さんに記念の盾を送りました

※播磨町ふるさと賞を授賞したのは、原田さんで28人目。コロナ禍で全国規模の大会が自粛されていたこともあり、約6年ぶりの授与となりました。

原田さんは、今年6月に行われた第107回日本陸上競技選手権大会のU20男子円盤投で50・12mを記録し、第2位に入賞しました。その輝かしい成績を称え、播磨町ふるさと賞を贈りました。

「大会前の練習から、この調子ならいい記録が出ると、しっかりした手ごたえを感じていました」と、原田さんは話してくれました。また、佐伯町長からは「体重が増え、身体が大きくなるのは20代後半から。これからもっと力がついてくると思うので、オリンピックで室伏広治さんのように金メダルを獲れるように頑張ってください」と今後に期待を寄せました。

原田優飛さん（日本体育大学陸上競技部所属）に播磨町ふるさと賞を授与

全国大会出場ラッシュ！播磨中学校・播磨南中学校の生徒が全国へ！



▲花神未來さん(左)、光吉真依さん(中央)、小西拓実さん(右)

小西拓実さん（播磨中学校陸上競技部）、光吉真依さん（播磨南中学校陸上競技部）が全国大会に出場

8月22日から25日にかけて開催された第50回全日本中学校陸上競技選手権大会に、播磨中学校の小西拓実さんが男子共通四種競技で、播磨南中学校の光吉真依さんが100メートルハードルで出場しました。また、和歌山県で開催された第72回近畿中学校総

合体育大会に出場した花神未來さん（播磨中学校陸上競技部）も、そろって町長を表彰訪問しました。

それぞれ、自分達の記録を省み、次の大会への抱負を語ってくれました。

播磨町も、大きく懸垂幕を掲げて応援しました。

播磨町出身の高校生がバスケットボールで全国大会出場！



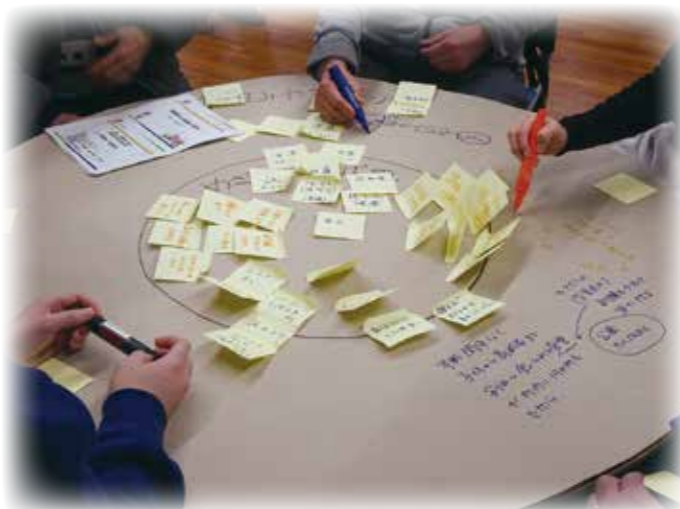
▲竹中凜さん（中央）

竹中凜さん（三田松聖高等学校女子バスケットボール部）が全国大会に出場

北海道札幌市で開催された令和5年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会に兵庫代表として三田松聖高等学校が出場しました。

その三田松聖高等学校女子バスケットボール部所属で播磨町出身の竹中凜さんが町長を表彰訪問しました。

チームは、惜しくも3回戦で敗れましたが、並み居る強豪校を撃破し、ベスト16という素晴らしい成績を収められました。竹中さんの一層の活躍に期待します。



どんな状態をめざしたい？ そうなるために、まちに必要な福祉は？

これからの播磨町の

ふ

だんの

く

らしを

し

あわせにするために

みんな考えてみませんか？

健康福祉課地域福祉係 ☎079-435-0311

ワークショップの参加者を募集します

播磨町で初めてつくる地域福祉計画について、みんなで考えましょう。

日時 10月15日(日) 14時～17時  
場所 中央公民館 大ホール

内容 ① 計画づくりの情報共有

② 計画を一緒に考える

対象 12歳（中学生）以上で原則として、町内在住、在勤または在学の人

定員 80人

申込み締切日 10月10日(火)

※応募状況により、早めに募集を終了する場合があります。

※託児（先着10人）もあります。

10月6日(金)までにお申し込みください。

※文字通訳を行います。

申込み 電話またはメールで

問合せ 健康福祉課地域福祉係

☎079-435-0311

✉kentuk02@town.harima.lg.jp

地域福祉計画策定の進捗状況

地域活動に携わっている団体や町に関係のある福祉関連の事業所、民生委員・児童委員、一

般住民を対象に、令和4年10月から11月中旬にかけてアンケート調査、12月に自治会連合会へヒアリングを行いました。

令和5年2月11日には、アンケート調査の結果や、そもそも福祉とは何なのかをテーマとしたワークショップを開催し、61人にご参加いただきました。

令和5年7月から、「播磨町地域福祉計画策定委員会」を設置し、検討しています。今後、地域福祉計画策定までに、パブリックコメントで意見を募集する予定です。

地域福祉計画とは

地域において誰もが安心して暮らせるように住民や事業者、団体、関係機関、行政がお互いに協力しあって、地域の課題を解決する土台をつくるための行政計画です。



昼間は「熱さ」を楽しみ、夕方は音楽と食事を楽しむ夏イベント



▲暑さに気をつけながら楽しめました

8月20日、うみえーる広場で、「あおぞらスプラッシュ」が開催され、約1千人の人でにぎわいました。かき氷や冷たいドリンク、スイーツやゲーム、緑日の水風船キャッチや水鉄砲サバイバル、噴水のある水辺などで遊ぶぬれになって遊ぶ子どもたちの歓声が響き渡っていました。炎天下でのイベントは暑さが心配ですが、早く来て早めに帰る人、ゆっくり来て夕方まで過ごす人など、それぞれが対策を取りながら上手に過ごしていました。
☎079-437-2201
☎079-435-0304

ダンスをしたり、おもちゃで遊んだり、子どもたちの笑顔がいっぱい

9月2日、中央公民館で「はりまキッズふえすた」を開催しました。今年、クイズ、制作、サークルによる手作りおもちゃのほか、血管年齢チェック、ベジチェック、歯科衛生士によるお話などのブースが揃いました。またホールでは、いせきくん・やよいちゃんと一緒にダンス、えのじいとパパたちによる親子で遊べる楽しいステージが催され、盛りだくさんの内容でした。大人も子どもも、元気いっぱい身体を動かして、笑顔あふれるイベントとなりました。
☎079-435-0366
☎079-435-0366



▲みんなでダンスをしました

絵本を寄贈いただきました



▲いただいた絵本は子育て支援センターで活用します

「はりまキッズふえすた」を開催しました。中央公民館で「はりまキッズふえすた」を開催しました。今年、クイズ、制作、サークルによる手作りおもちゃのほか、血管年齢チェック、ベジチェック、歯科衛生士によるお話などのブースが揃いました。またホールでは、いせきくん・やよいちゃんと一緒にダンス、えのじいとパパたちによる親子で遊べる楽しいステージが催され、盛りだくさんの内容でした。大人も子どもも、元気いっぱい身体を動かして、笑顔あふれるイベントとなりました。
☎079-435-0366
☎079-435-0366

マダコが産卵しやすい環境をつくります

播磨町漁業協同組合と播磨町は、8月初旬、新島の沖合に産卵用たこつぼを335個投入しました。産卵シーズン（9～10月）を迎える前に、マダコが播磨町の漁礁で産卵しやすい環境をつくることのできる。同漁協では、水揚げされたマダコを漁師が捌き、竹串を刺して、天日干しにする干しだこ作りが毎年夏頃に行われます。強い日差しを浴びることで、タコの旨味が「ギュツ」と凝縮されます。干しだこは、同漁協にて販売されているほか、町内小・中学校の給食用に出荷されています。
☎079-435-0304



▲天日干して干しだこになる



▲たこつぼを投入

播磨町沖で獲れるブランド蛸・マダコの漁獲量を増やそう

創立50周年記念事業としてご寄附いただきました



▲一般図書と児童図書

加古川中央ロータリークラブでは、地域社会で持続的な良い変化を生み出すために、様々な社会貢献活動をされております。創立50周年記念事業として、図書館費支援のため70万円のご寄附をいただきました。この度のご寄附は、一般図書170冊、児童図書245冊と本棚のブックトラック2台の購入に活用させていただきました。
☎079-435-0303



▲佐伯町長と上月和洋会長

加古川中央ロータリークラブ寄附金に係る目録贈呈式を行いました

町長と語ろう「ウェルカムミーティング」を開催しました



▲中学生とのウェルカムミーティング
各開催日の参加者数 7月19日 4組37人
7月23日 2組8人

中・高校生等とみらい会議
中・高校生、子育て期の母親、高齢者の集まりなど、各回ともそれぞれの暮らしにかかわる、熱い思いが届けられ、活発な意見交換が行われました。いただいた数々のご意見は、今後の町政に活かしていきたいです。
今後にも在任、在学・在勤の方々との意見交換の場を開催しますので、是非ご参加ください。
☎079-435-0356
☎079-435-0356

